

女性部第21回定期大会開催

～男女平等、長時間労働をなくし、ディーセント・ワークの実現を～



大阪労連女性部は、9月23日に第21回定期大会を開催しました。代議員73名の参加で「憲法をいかに人間が大切にされる社会に変えよう」のスローガンのもと、2011年度方針など満場一致で採択され成功しました。

挨拶にたった土田部長から、「今日から21年目。女性 はしなやかに、したたかにを合言葉に屈せず運動を継続してきた“愚痴を要求に、闘いに望んでいこう”を力に元氣よく運動を進めていきたい。全労連の議案にのった

ディーセント・ワーク（当たり前働き方）を今こそ全面的に据えて運動していきたい」と提起しました。討論では、10単産、14名の発言があり議案を補強する力強い発言でした。

<自治労連>

橋下知事は、「財政破綻宣言」で府民を脅し、財政危機を招いた大型開発を見直さず、教育、医療、福祉、文化、男女平等推進のための予算を削り、職員の賃金カットをして2年半がたちました。腹が立つのは、議会で2回も否決されたWTCへ税金を使って府庁移転を実質進めていることです。その上、財政構造改革プランとして、府民犠牲の提案がされましたが、パブコメへは反対の声が多くよせられました。知事は財界が求める道州制に突き進みたいのみです。子ども家庭センターの職場実態を紹介します。8月から知事肝いりで虐待CM広報を開始しました。府は24時間児童虐待電話通報体制を敷いています。しかし、中央子ども家庭センターの虐待対応職員は携帯電話をもち自宅等で待機させている状態です。通報があれば48時間以内に安否確認を行なうことが求められ、職員は夜の通報後対応をし、寝ずに次の日出勤しているという実態です。しかも、待機時間は勤務時間と認められておらず、職員のボランティアなのです。虐待の一時保護所も深刻です。本当に子どもが笑って暮らせる社会になるように、職員はまじめに一生懸命仕事をしています。そんな中、「給与制度改革」賃金カットの提案がされました。職員採用から部長まで知事と価値観を共有する人を採用・登用できるようにするそうです。見せしめ人事や評価制度を給与に反映させ物言わぬ職員づくりを着々と進めています。私は22歳から34年間働いているが、昇格はない。なのに、4万円カットの提案。ますます、やる気をなくしてしまう。知事を変えるしかない。自治体職員として、府民に役立つ仕事がしたい。

<福保労>

保育の新システムについて、内容を知らない人もいます。多くの人に広めてほしい。今、保育の給食に外部委託が進んでいます。保育所では、台所があり、家庭と同じように子どもを育てようと願っています。しかし、給食の外部委託の始まった東京都では、虫・髪の毛が入っていることがありました。本当に外部委託がいいのだろうか。外部委託でアレルギーや咀嚼の難しい子どもに対応するとそのたびにお金がかか

ります。そのため、安い方が選択されていきます。私たちが、市内の 17 箇所の調査を行ったところ、10 パーセントを超えるアレルギー児がいました。大阪市に陳情を行い、まずは、調査だけでも行ってほしいと要望しましたが、返事がありません。市・府・国への署名への協力をお願いします。

<大教組>

大阪府はこの 3 年間、538 億円の教育費を削っています。教育に穴が空く問題では、府下に非正規職員の講師が 4100 人もいます。そのため、怪我や病気をしたときには代替講師が見つからず、骨折した先生は、自費を使ってタクシー通勤で勤務をしました。一方、教育委員会の対応は、タクシーを使ったら、通勤定期は使用していないだろう定期代は返金するよという本末転倒な対応です。民主党は 35 人学級をいっていますが、これは予算レースであるコンテストに通らないと実現しません。私たちの要求実現のために、今年は教育署名を大阪で 100 万筆を目指しています。毎年お願いしてきた署名ですが、この秋いっそうの署名のご協力をお願いします。

この 10 月には、全国の女性教職員が大阪に集まります。大会を成功させ、集まりを元気のもととして、運動をすすめていきます。

<自交総連>



バスガイドをしています。中央交通には、私たちの組合と会社の組合の 2 つがあります。その会社でセクハラ・パワハラがあります。5 月 13 日の地裁では、セクハラ・パワハラは社会通念を超えないと不当な判決が出され、争いは高裁に持ち込まれました。バスガイドは華やかな仕事といわれますが、運転手さんとの関係がうまくいかないと困ることが多々あります。2 人での乗務時間に限って、胸やお尻へなどセクハラがあるので。そして、「やめてください」と言う関係がうまくいきません。社長へ直訴したら「会社を敵に回して、人生台無しにするのか」といわれます。訴訟をおこした私たちに休業補償するから、来なくていいと言われていました。これは、休業補償に名を借りた新たな賃金カットであると思います。

今、乗務員のいないワンマンバスが増えています。乗務員がいないのは、運転手にとっても安全が脅かされます。格安ツアー、安いバスの利用は安全面で見直してください。

<堺労連>

毎月 1 回の定例役員会を行って、学習と職場交流をしながら活動しています。非正規の職員が増え、正規職員に責任が回り、とても労連の役員となり手が出せないという深刻な状況が医療や教育分野の組合からも出されています。組合員の拡大と役員の確保は、頭の痛い問題ですが、小さいけれど大きな働きをしていることに確信を持って運動を広げていけたらと思っています。

堺労連の活動を紹介します。毎年 12 月に争議支援のための「心をつなぐコンサート」を開いています。今年は、12 月 14 日に 8 回目のコンサートをし、JMIU に加入したダイキン工業支部や飛翔館高校の皆さんの訴えをしてもらう予定です。この 3 月には「第 3 回平和のための学習会」を開催しました。今回は、西谷文和さんに『イラク・アフガン・沖縄』の講演してもらい、70 名以上が参加しました。また、6 月に 10 団体 12 名参加で女性部委員会を開きました。しんどい中でも元気に活動している女性部の発言にお互いが励まされ交流できる機会になっています。私たちの運動の原点は、平気で働く人の首を切る企業への怒りと、突然生活を奪われた働く女性への連帯の気持ちです。人間らしく働いて、正規も非正規も同じ賃金を！知恵を出し合い、時間を生み出して、労連女性部の運動を強めていきましょう。

<医労連>

この5年間、医師、看護師を増やせという要求してきました。請願は通ったが、実質はまだ増員されていません。今年は全国キャラバンを計画しています。大阪府は11月堺スタートです。応援をお願いします。看護師も、骨折しても「やれる仕事があるから」といわれ、休まず出勤しています。以前は考えられない状況です。また、2交代が今、導入されています。そして、大学病院の6割に2交代が導入されています。2交代は12時間ではなく、16時間勤務なのです。患者へのサービスへの低下につながらないはずがありません。看護師は忙しくて食べられない現状に、せめて脱水しないようにとドリンクを持参で勤めています。看護協会会長（看護師の6割60万人を組織している協会）が集会で講演をし、夜勤の規制をしようと発言しました。組合の枠を越えて、勤務と勤務の間を12時間おこうという動きが始まっています。

<年金者組合>

最低保障年金確立を求めています。まずは8万円を目標に運動を進めています。後期高齢者制度は、お金だけでなく治療に限度が設けられているところが問題なのです。しかも、75歳の年齢を65歳にしようという動きがあります。また、国保料を府下一律にすると、年3万円の増額になる自治体もあります。堺のように援助のないところは、変わらないじゃないかといえるかもしれませんが、住む地域によると交通費もかかるのです。なんでも広域にすると、地域の実態に合わない現状が出るのではないのでしょうか。地方自治体は、住民のためというあるべき姿に立ち返って考えてほしい。

<大私教>

初めて参加です。養護教諭なので、女性の集まりには慣れているが、闘う女性の集まりはびっくりです。大阪私学で生徒へのセクシャルハラスメントが複数おこっています。先週は読売新聞でも教師が生徒に500通のメールを送っていたことが報道されました。大私教でも相談を受けていたが、生徒は現在高校を辞めています。学校で、生徒が守られていなかったのです。評価育成システムの影響が私学にも波及、多忙化もあり、同僚間のハラスメントも増えています。ハラスメントについて10数年前に学習してきたことが、いまなぜ、問題になるのだろうか。生徒数減で、男女共学が始まり、男子校の教員への啓発が放置されてきたのではないだろうかと改めて学習会を計画しています。大阪府では、3年間で私学助成が、小中学校20数パーセント、高校は10パーセントカットされています。私学も公教育を担っているのに、本来子どもたちの教育費は無償になるべきです。あまりのカットに、私学経営者の議員が反対の声を上げると、今度は府職員の賃金カットを提案してきました。非正規有期雇用の教職員が増える中、教職員の分断を許さず多忙化で視野を狭くしてしまうのではなく幅広くつながり運動をすすめていきたいと思っています。

<全印総連>

大阪労連では、異職場での様子が交流され、勉強になります。印刷業は、厳しく小さくなり、採用がなく、従業員が減っています。私の職場も10年前には300人の組合員が今は150人と半減しています。社員が減るということは、労働強化となっています。女性の残業も70時間を越えるようになりました。一方、仕事も減っているのに、24時間業務をやめるとか、週3日就業が始まっています。

その中で、女性役員が増え、20パーセントを超えたり、役員になったりしています。男性が頼りないのか、女性がパワーをつけたのか女性が元気です。ある女性から、80時間の残業に耐えられず、組合に入り、役員をし、大変だけれど、会社に意見が言えるのは、やりがいがあるという報告がされました。私もがんばろうと思います。

<生協労連>

今年、アナウンサーの方を講師に迎えて講習会を開きました。話し方の講習会でしたが、3つの器の上に好きな食べ物が載っていると思って、相手に伝えることを行いました。聞いていて、とてもおいしそうで、人は生きること・食べることがすきなんだなあとしみじみ感じました。

職場で2人目を妊娠した人が、出産後、職場復帰を目指していることが今、とてもうれしいです。少しずつですが、子どもができて働き続ける条件を作ってきたこと、そういう意識を持つ人が出てきたことがうれしいのです。

<枚方非常勤裁判報告>

9月、地裁判決をくつがえし、高裁で全面勝訴となりました。ありがとうございました。たくさんの支援、署名に協力いただきました。物心両面にわたりありがとうございました。支援学級の介助員に一時金の支払いが払われているのは、おかしいと市長が訴えられたが、私たちには、賃金返還を求められたので、被告として、陳述してきました。高裁では常勤勤務であることが認められ、一時金支給も認められました。しかし、正規の4分の3の時間働いていて、もらっている一時金は半分。生涯賃金では半分にもならない。

これからは、同一賃金を求めて運動を継続していきたい。

(女性部からお祝いの花を送りました)

発言全部は、掲載できませんでしたが、発言していただいた代議員のみなさんの活発な討論は参加者に頑張る勇気を与えてくださいました。



当面の日程

- 10月 2日(土) おおさか女性9条の会5周年のつどい
梅香殿 13時～15時半
- 3日(日) 税と社会保障 共通番号制学習会 ドーンセンター 13時半～
- 13日(水) 大阪労連女性部常任委員会
- 15日(金) 「ディーセント・ワークデー」
- 16日(土) おおさか女性行進 3時集合 3時半出発集会 新町北公園
- 23日(土) 沖縄連帯集会 大阪城野音
- 25日(月) はたらく女性の大阪集会 第1回実行委員会
- 11月 5日(金) 大阪労連秋の組織月間交流集会 18時半～
- 7日(日) パート・非常勤・ヘルパー・派遣労働者の集い 鶴見区民センター 10時～
- 10日(水) 大阪労連女性部常任委員会
- 17日(水) 大阪労連女性部単産・地域代表者会議
国会会館中会議室 18時45分～
- 18日(木) 国民要求実現中央行動 日比谷野音・各省交渉
- 19日(金) 「ディーセント・ワークデー」
- 20日～21日(土日) はたらく女性の中央集会 in 神奈川
- 27日(土) 大阪自治研男女平等分科会
- 28日(日) 沖縄知事選挙投票日